



認定こども園

函館深堀保育園

POLICY BOOK

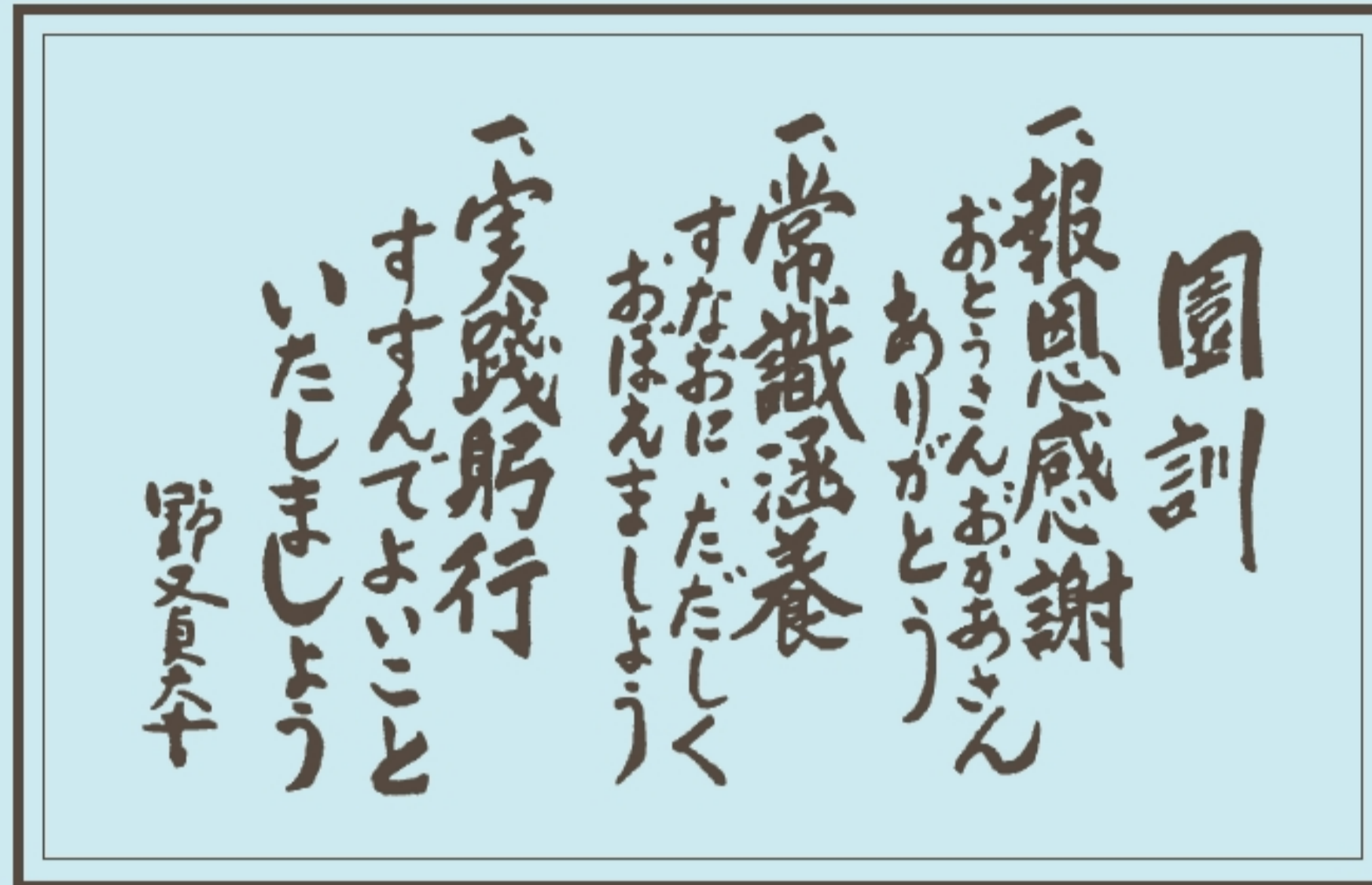
一緒に子育てを
楽しみましょう！



認定こども園

函館深堀保育園

経営主体	社会福祉法人 貞信福祉会
理事長	野又 淳司
開所年月日	平成23年4月1日
所在地	函館市深堀町27番2号
T E L	0138-33-0033
F A X	0138-33-0066
定員	70名
対象児	生後57日産休明け～就学前のお子さん 生後8週間を経過し健康診断の結果、健康であること。
事業内容	通常保育・乳児保育・延長保育・一時預かり保育・ 障がい児保育・子育てサロン
U R L	http://teishinfukushikai.or.jp/fukabori/



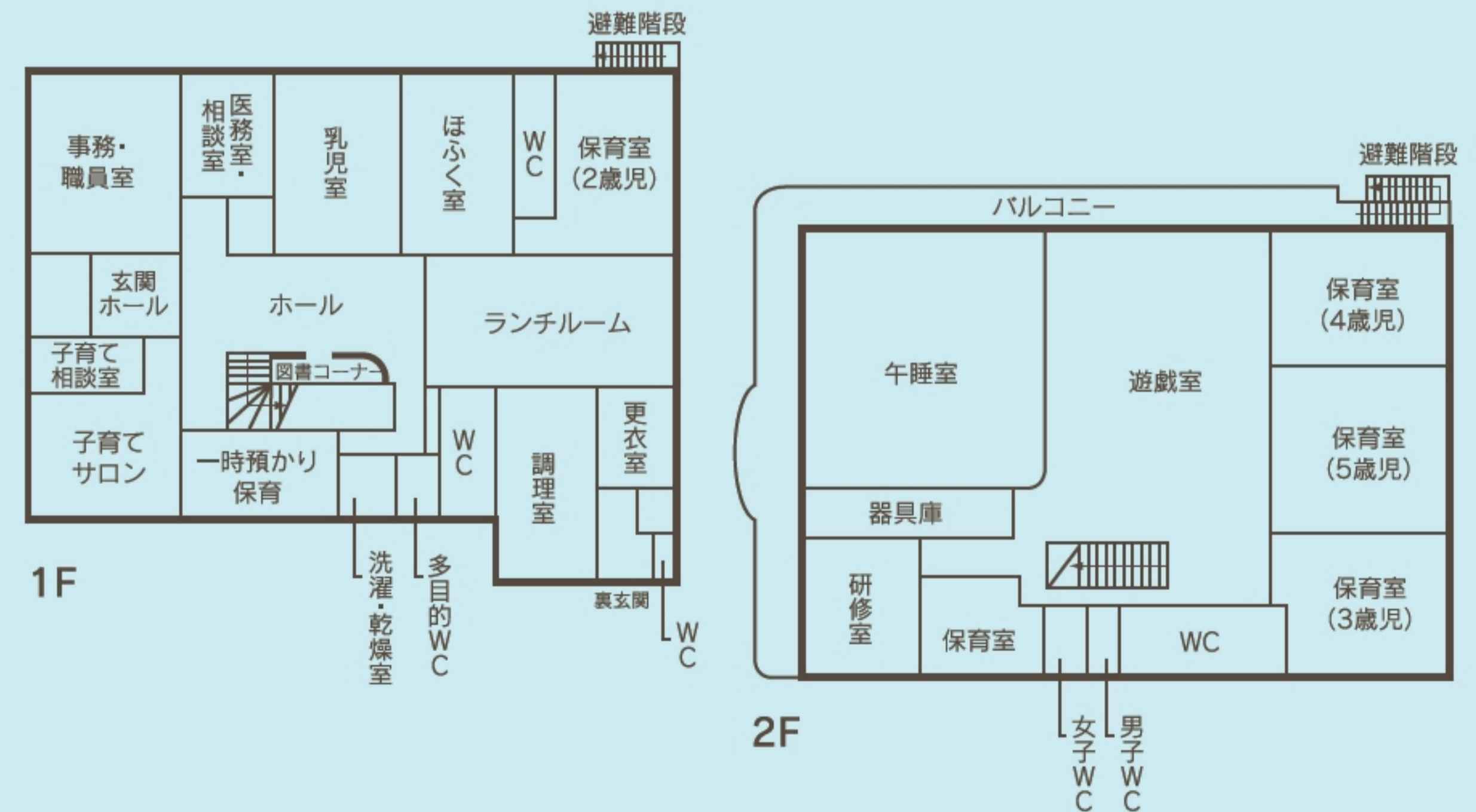
貞信とは…

かの天に斗あるがごとく 人は信を常とすべし
「如彼天有斗 可人信為常」

天の道しるべが星であるように、
人間生活の道しるべは、
「信」という文字で表せる。

「貞」とは常に正しく守るということ
「信」とは嘘がなく、誠実で信じること

私たちは「信」を大切にできる
子どもたちを育てます。



Message

ポリシーブックを作成するにあたって

函館深堀保育園は、平成23年4月1日、函館市よりの移管を受け開園しました。これまでの公立保育園からの保育を引継ぎながらも、新園舎での環境の変化、園児70名との日々の保育、保護者との対応など、どの件に関してもこれから築いてゆく「保育園の一步」として職員全員で確認し、何かを掴もうとする前向きな姿勢で取り組んでおります。

保育園では乳幼児期(0歳児～就学前)という最も成長の著しい、そして人として生きる力の基礎が作られる大切なときを過ごします。毎日の園生活では、子どもたちの生活と遊びを中心として、より豊かな心身の発達が図れる環境を整備し、また、家庭と連携をとってゆくことが重要と考えています。

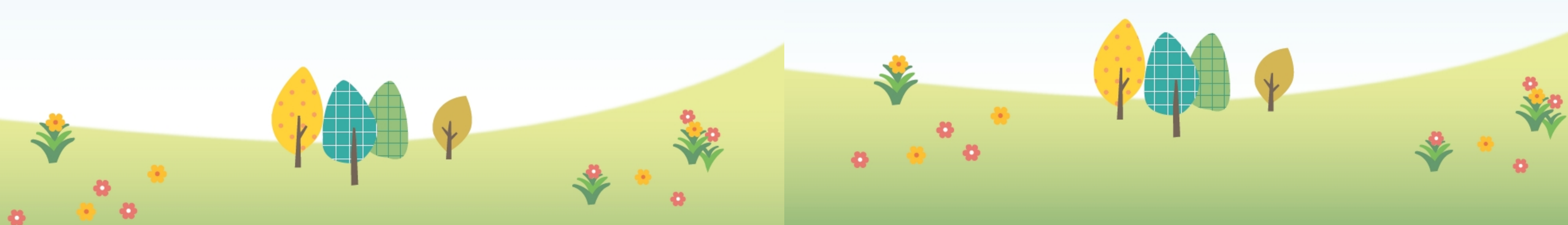
このポリシーブックは、当園の子どもに対する「保育の思い」と「実践内容」を全職員がテーマごとにグループを作り、話し合いを重ね、まとめたものです。今後も「保護者に信頼され、地域に愛される保育園」を目標に職員一同さらに研鑽を重ね歩んでゆきたいと思っております。

そしてこの冊子を、保護者の皆様と「共有」し、子どもたちのより豊かな育ちに生かされ「子育て楽しい!」と感じていただければ幸いです。

園長 甚野 眞実

Contents

- ① 保育園の理念4
- ② 方針と保育目標6
- ③ デイリープログラム8
- ④ 環境について10
- ⑤ 園行事について12
- ⑥ 0歳児の保育14
- ⑦ 1歳児の保育16
- ⑧ 2歳児の保育18
- ⑨ 3歳児の保育20
- ⑩ 4歳児の保育22
- ⑪ 5歳児の保育24
- ⑫ 食育について26
- ⑬ 健康面の管理・感染予防28
- ⑭ 事故防止・災害時の対応・不審者対策30
- ⑮ 保護者支援と地域支援32





子どもを真ん中に、 園と保護者で手をつなぎましょう

当保育園の運営方針は、園訓3カ条をもとに「報恩感謝」(情)「常識涵養」(知)「実践躬行」(意)を基調に進められています。乳幼児がくつろいだ適切な環境のもとに「こころの豊かないきいきとした子」に育つことを願い設立されました。子どもたちのすこやかな成長のため、毎日笑顔で過ごせるように保護者の協力のもと、家庭援助を行います。

愛はふれあいの中で

「ぎゅっと抱きしめる」

「楽しい話し合いをする」

「一緒に遊ぶ」

なげないお母さんの心掛けが優しい心を育てるのです。
ほのぼのとした心のぬくもりが生きる力になるのです。
家庭は、子どものやすらぎの場。
保育園もご家庭と一緒にやすらぎの場でありたいと考えています。



保育園は子育てをサポートし、
お父さん・お母さんを応援する窓口です!

保育理念1: 保育を必要とする乳幼児の養護と教育を行う

愛されていることを感じてほしい

一人ひとりの子どもに豊かな愛情をもって接し、保育者との信頼関係を深め、安心感をもって過ごせる場でありたいと思っています。

養護

教育

可能性を引き出してあげたい!

各年齢の子どもの発達を捉え、興味やおもしろさを感じる環境づくりをしています。いろいろな経験の中で「五感」を刺激し、心豊かに成長できるように日々努力しています。

保育理念2: 保育は園訓3カ条を具体的信条としてすすめ 社会生活を営むための人格形成を図る

こころ豊かな いきいきとした子に育ってほしい

日々の保育(年齢別・異年齢)を行っています。行事等を通し、ルールや礼儀などを伝えたり、子どもたちの憧れになれるように、保育者は「笑顔が一番 愛情いっぱい 優しい言葉を忘れずに」を合い言葉にし、保育しています。

人格
形成

職員は研修などに積極的に参加し、知識の習得と技術の向上に努めること、豊かな愛情をもって接することを心に、子どもたちと共に成長していきたいと思っています。

保育理念3: 家庭や地域社会と連携し、保護者に信頼され 地域に愛される保育園を目指す

保護者との信頼関係を築いていくために

明るいあいさつや丁寧な対応を心掛け、保護者の方が話しやすい雰囲気づくりに努めています。日々の子どもの姿を伝え合い、成長と一緒に見守り手助けし、大人同士のコミュニケーションを通し、共感することを大切にしています。

家庭との
連携

地域との
連携

地域に関われ、愛される保育園であるために

地域の一員であることに感謝し、近隣の学校や町会の皆さんと交流を深め連携を大切にしています。また様々なおたよりを地域に発信し、より身近に感じて気軽に立ち寄れる場でありたいと思っています。



生きていく力の基礎をもった
子どもを育てたい!

園訓と保育目標のつながり



小さな芽にたくさんの愛情を注ぎ、
大きな木を育てたい

保育園は日中の大半を保護者と離れて生活する場です。私たちは、子どもにも保護者の方にも、安心して楽しみに来ていただけるような「第二の家庭」であるように願っています。その中で、一人ひとりの子どもたちが「生きるために必要な力を身につけていける」ように、目標をもち、丁寧な保育をしていきたいと思っています。

2
方針と
保育目標

豆知識

みんなの名前「ステキね」

「一人ひとりの名前は、お父さんとお母さんがいろいろな想いや願いをこめて付けてくれたもの」保育園では、そんな大切な名前を呼び捨てにせず、「ちゃん」「くん」「さん」をつけて呼ぶように心掛けています。また、大きいクラスの子どもにも名前大切さを知らせています。

0歳児

- 特定の保育者と関わり、安定したリズムで過ごす
- 保育者との豊かな関わりで、自発性・探索意欲が高める
- 見慣れた保育者に対し、積極的に関わり、情緒が安定し表情豊かになる

1歳児

- 保育者との豊かな関わりで、自発性・探索意欲を高める
- 行動範囲を広げ、探索活動を盛んに行い、自分の意志や欲求を言葉で表現する

2歳児

- 保育者や友だちと関わる中で自分のしたいことを言葉や行動で表現する

3歳児

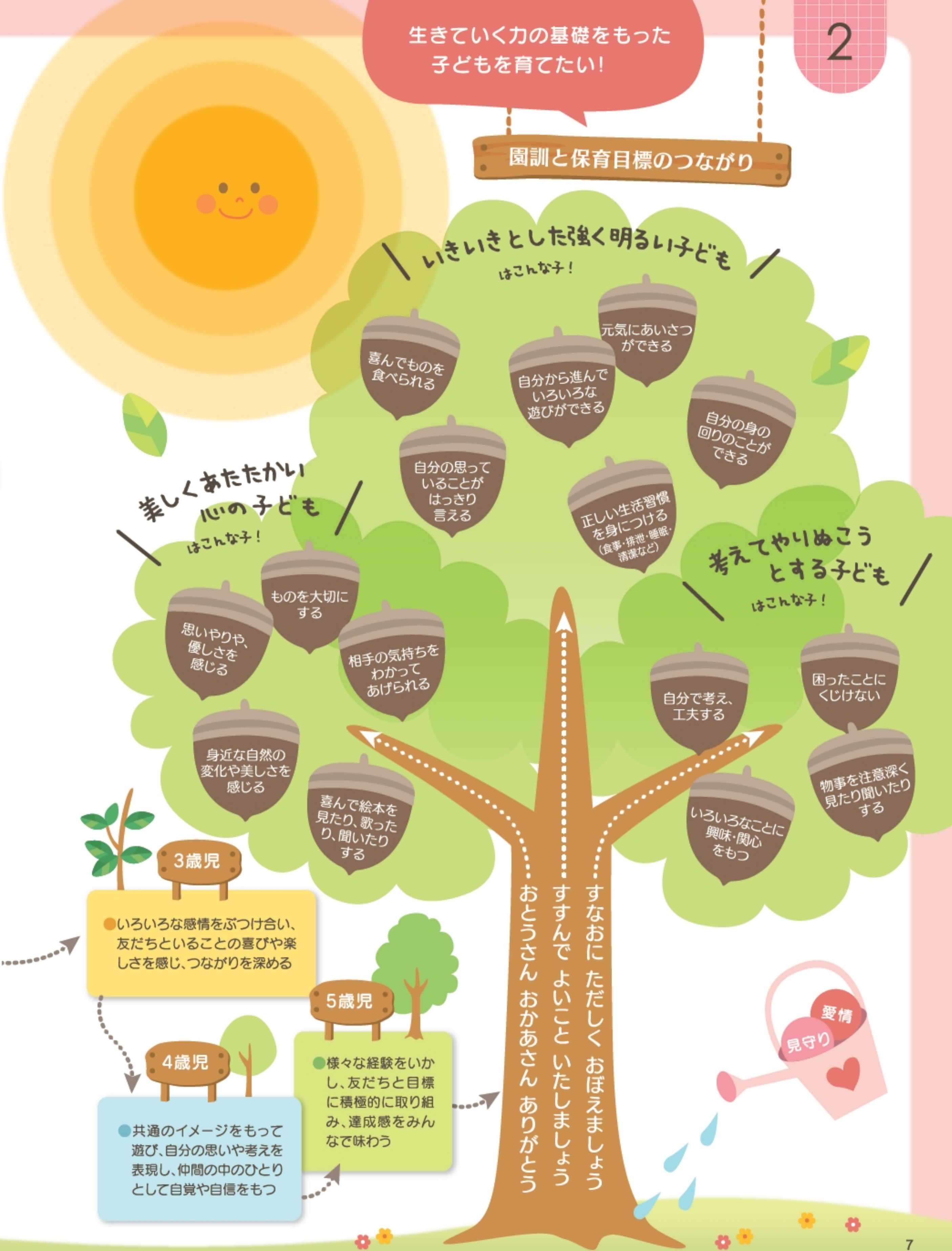
- いろいろな感情をぶつけ合い、友だちといることの喜びや楽しさを感じ、つながりを深める

4歳児

- 共通のイメージをもって遊び、自分の思いや考えを表現し、仲間の中のひとりとして自覚や自信をもつ

5歳児

- 様々な経験をいかし、友だちと目標に積極的に取り組み、達成感をみんなで味わう





3 デイリー プログラム



家庭と保育園の連携を

子どもたちが一日の大半を過ごす保育園。そのため、家庭的で安心して過ごせる配慮をしています。「睡眠」「食事」「遊び」を主に、保育園と家庭での「24時間」の生活サイクルを考慮し、保護者の皆さんと一緒に子どもの育ちを考え、取り組んでいきたいと思っています。

豆知識

アタッチメントについて

アタッチメントとは乳児と特定の人物との間に作られる愛と絆、基本的信頼関係のことをいいます。保護者の乳児に対するスキンシップなど、様々なふれ合いからアタッチメントはより深く形成されます。園でも家庭と同じような温かい関わりを通して子どものよりよい育ちにつなげていきたいと思っています。

ご家庭での習慣

- **早寝早起き**
「早寝早起き」は心の安定と身体の発達に大きく影響します。夜は遅くとも9時までに就寝、朝は6～7時には起床するようにしましょう。
- **朝ご飯**
朝食は午前中の活動に必要なエネルギーを作る働きをしています。朝食を基本に生活リズムを整え、親子で毎朝食卓に向かう時間を作りましょう。

元気に身体を動かして遊ぶ

- **明るい太陽のもと遊ぶ**
セロトニン(感情のコントロール作用)とメラトニン(情緒の安定・抗癌・老化防止作用)の分泌が活発になります。
- **活発に身体を動かす**
午前中に十分身体を動かして遊ぶことで、「お腹が空く→美味しく食べる→眠たくなる→十分な休憩を取る」というサイクルができあがります。



リズムを一定に

● **心と身体の休息**
0～2歳児クラスでは「家庭連絡ノート」で、生活の時間を把握し合い、睡眠でのリズムを作っています。年長の後半になると、小学校就学に向けて午睡をせずに過ごします。



子どもたちの成長を促す 大切な保育環境

子どもの興味・関心に応じた活動を主体的に選んで取り組むことができるように環境を整えています。

- 1.遊具や道具(物的環境)
- 2.時間(日課を作る)
- 3.空間(コーナーづくり)



考える力、聴く力、見る力、人と関わる力(競う、思いやる、協力する)などの、人として生きていくために必要な力を得ていきます。



豆知識

ビオトープとは？

2008年7月、自然体験の少ない子どもたちに、命や自然の大切さを感じてもらおうと、深堀中学校の敷地内に「ビオトープ(生物の生息空間)」が整備されました。ナミアゲハやキアゲハのエサとなる、サンショウ・セリなど4種類70株を植え、自然を復元したことで1ヶ月後アゲハが訪れ産卵するようになりました。保育園でも2年前からアゲハの成長観察をしています。

生活と遊びの場を分けています

「自分の場所」が分かり、落ち着いて身の回りのことを行ったり、「継続できる遊び」の空間を大切にしています。

生活 それぞれの空間において、毎日変わらない一定の場所を決めることで迷わず見通しをもち、行動できるようにしています。

●個人ロッカー ●靴入れ ●ランチルーム ●午睡室

遊び 各クラスでは、年齢や興味に合ったコーナーの設定をしたり、創造力や五感を刺激しながら遊びを楽しめる、環境づくりを工夫しています。

●カブラ、LaQコーナー、ごっこ遊びコーナー
●製作コーナー、机上遊びコーナー



発達に合った手づくり玩具と コーナー遊びの充実

●月齢、年齢、その子どもに合った発達を促すことのできる玩具を整えることで子どもの興味や関心をより引き出せるようにしています。

●生活との関連をもたせる手づくり玩具としては、ボタン掛けやファスナーなど、指先を十分に使い、楽しんで遊びながらやり方を覚えていきます。

●コーナー遊びでは、ごっこ遊びや机上遊びをひとりでじっくり行えるよう、つい立てを利用して子どもが主体的に遊べる空間づくりを工夫しています。

保育園の周りには、こんな自然がいっぱい!!

- 園の隣りにはビオトープがあり、四季の移り変わりを感じながら遊んでいます。
- 川沿いに遊歩道があり、小さい子どもも歩くことを十分楽しんでいます。また、カモや魚にエサをあげることも喜んでいます。
- せせらぎ公園、坂の上公園、児童館の広場、JRAプラザ等へ行き、身体を動かすことも楽しんでいます。



5 園行事について

いろいろな経験から 一人ひとりの可能性を広げたい

毎日の生活の中で、情緒の安定や自ら見通しをもつ力が養われ、成長していく子どもたち。
そんな日々の保育と連動させながら「行事」という様々な体験の場を作っていくことで、心や身体が育ち、子どもたちにとってかけがえのない喜びや感動、貴重な経験へとつながります。

豆知識

「節分」について

春・夏・秋・冬と変わっていく季節の始まりの日をそれぞれ立春・立夏・立秋・立冬と呼びます。その前の日のことを「季節がかわる節目」という意味で節分といいます。

四季を感じて

おもちつき
クリスマス会
節分

七夕まつり
小遠足

一年を通し、春夏秋冬を感じられるものや、伝統行事を行っています。そこに必要な物を自分たちで考えたり、準備もしていくことで、自分たちがそこに参加しているという意識や興味ももてるようにしています。
また、そこから日本古来の行事や四季の素晴らしさも肌で感じてほしいと願っています。

発達の間として

運動会
保育参観

行事は日々の生活や遊びとのつながりを意識して行っています。
皆で目標をもち、取り組むことで友だちの大切さや諦めない心、思いやりの心が育ちます。
一つひとつの行事を終える頃には「できた」「やればできる」の自信につながっています。



保護者懇談会
個別懇談会

理解を深めるために

保育園や家庭でのお子さんの様子を互いに共有し、子育てについての相談、悩みを共に考え、実践していきます。
また、保育者や同年代の保護者との交流・意見交換の場を設けることで、子育てのヒントや、悩み解決の糸口となります。

経験豊かに

貞信ファーム(農園)
お祭りごっこ
レストランごっこ

貞信ファームでは自然の中で身体を鍛えると共に五感も養われ、自然や食物に対する感動・感謝などの豊かな心が育ちます。
日常とは違った経験の場や、園外活動、また、そこで出会う様々な人とのふれ合いは、子どもたちの良い刺激となり、「楽しい、嬉しい、やってみよう!」の自主性や好奇心が育ちます。



成長を祝って

誕生会
卒園式
新入進級歓迎会

一人ひとりが主役の誕生会は皆で成長を喜び合い、お祝いしていく機会を設けています。たくさんの人にお祝いしてもらうことで自分が大切にされていることを実感し、認められているという安心感や信頼、喜びへとつながります。
また、相手を大切にする心や優しさが生まれ、大きくなることへの期待も高まっていきます。



6 0歳児の 保育

心と身体の栄養をぐんぐん吸収する時期 一人ひとりを大切に

授乳・排泄・睡眠をはじめとした育児を、愛情をこめて丁寧に言いお世話してもらうことで生理的欲求が満たされ健康に過ごせることができます。一人ひとりの気持ちに寄り添い、安心できる対一の関係の中でゆったりと子どもと関わり、信頼関係が確立し精神的に安定できるように育てています。

豆知識

欲しい物を取りに行く
「ハイハイ」は
自立の第一歩です

住宅環境の変化や保護者の意識として少しでも早く歩いてほしいという思いから最近「ハイハイ」をしない子が多くなったといわれています。ハイハイは運動機能をはじめ、様々な発達が促され、いろいろな力を身につけます。



個々の生活リズムに合わせて

- 育児日記(家庭連絡ノート)で子どもたちが日々安定して過ごせるように園と家庭との連携を図っています。
- 常に身体の状態を観察し、一人ひとりの発達・個人差・家庭での生活リズムを考慮し、個々に合わせ心身共に快適な状態を作ろうとしています。
- 育児担当制を取り入れ、特定の保育者が同じやり方や手順で育児を行っています。

安心できる人、安心できる場所に
心を開くようになり、
そこへ行くと何をしてもらえる
のかがだんだんわかるようになります。



豊かなコミュニケーション！ 「見つめ合う」「語り掛ける」「ふれ合う関係」

- 視線を子どもと合わせ、保育者がこれからすることを優しく伝えてから行います。
- 子どもの出すサイン(心の声)を敏感にキャッチして読み取り、気持ちに寄り添います。
- 喃語や指さしなどは優しくくり返して応答し、発語を引き出していきます。



五感を刺激し発達につなげたい

- なめる・見る・音を聞く・さわる・嗅ぐをすべて使って物を確かめ、探索意欲を高め、世界を広げていきます。(発達・感覚機能を育む布や木の玩具)
- ゆったりとした空間で安全面に配慮し、十分に身体を動かして遊びます。
- わらべうた、ふれ合い遊びで身近な音楽に親しませていきます。





1歳児はひとりだちの出発期 自分の力で歩き出します

1歳児は見る物、ふれる物等、いろいろなことに興味をもつ好奇心あふれる時期です。子どもたちの「やってみたい」という気持ちを大切にしながら一人ひとりの思いを受け止め、満たしていけるようにしています。

また、保育者と一緒に行う中で、できた喜びを共感し合い、次へとつながるようにしていきます。

7 1歳児の 保育

豆知識

かんしゃく泣きや イヤイヤ泣きのときは？

情緒のコントロールが不十分であるため、自分の気持ちを、泣いたり「イヤイヤ」で表そうとします。そういうときはまずは、じっと抱きしめてあげましょう。抱きしめてあげることで、安心し、落ち着いてきます。落ち着いてから、ゆっくりと優しく子どもの気持ちを聞いたり、くみ取って安心させてあげましょう。



そばで見守りながら、 やってみようとする気持ちを大切にする

- 保育園では毎日同じリズムで過ごし、子ども自身が主体的に行動できるようにしています。
- 生活の基盤となる食事、排泄は、特定の保育者が関わることで一人ひとりの発達をよく把握し、より深い信頼関係を築け、安心した気持ちで過ごせるようにしています。



一人ひとりの思いに丁寧に応える

- 一つひとつの言葉に、あたたかく応え、2語文・3語文へつなげるようにしています。
- 言葉にできない思いを保育者が汲み取り、代弁していくことで「わかってもらえているんだ」という安心感がもてるようにしています。

「歩くのって、楽しいな！」という 思いを受け止めてあげる

- 歩行が安定していると、行動範囲が広がり歩く、走る、登る、降りるなどの全身運動ができるようになってきます。ホールではトンネルや段差の登り降りなど、月齢に合った遊びをし、その中で楽しみながら運動機能を育てています。
- お散歩では乳母車に乗り、目的地(広場や川沿い)では降りて芝生や土の感触を楽しんだり、草花にふれ、十分に探索活動をしているような物に興味、関心をもてるようにしていきます。





8 2歳児の 保育

自我が芽生える時期

大人の手を借りずに何でも「自分で!」

2歳児は食事・排泄・着替えなどの身の回りの生活習慣が徐々に自立に向かっていく時期です。「自分で!」「ひとりでやりたい!」と自己主張するようになり、意欲も強くなってきます。また、ひとり遊びから保育者や友だちと一緒に遊ぶことが楽しくなりはじめ、関わりも多くなってきます。

簡単な言葉のやりとりから始まり、ごっこ遊びなどで同じ物を持ち、同じ行動をしたりと、遊びを共有することを喜ぶ姿が見られてくるので、一人ひとりの気持ちに寄り添い、仲立ちしながら見守っていきます。

豆知識

気になることはすぐ知りたい!

「これなに?」「なんで?」と子どもの頭の中は「?」でいっぱいです。好奇心旺盛になり、いろいろなものに興味・関心を持ち、たくさん質問するようになります。気持ちをしっかりと受け止め、一緒に考え、ときには「どうしてかな?」と子ども自身にも考える機会を与えていき、一つひとつ丁寧に答えていくことが大切になってきます。



自分でやりたい気持ちを やさしく見守る

- 一人ひとりの気持ちを大切にしていき、できそうな所は手を出さずに見守っていきます。
- 上手にできたときには「すごいね!」とたくさん褒めていき、自信につなげ、意欲を高めていけるようにしていきます。



言葉のやりとりや人との関わりが 楽しくなる

- 「いれて」「かして」等と遊びを通して言葉のやりとりをしながら友だちと同じ遊びが楽しめるようになってきます。
- ごっこ遊びの中に、季節に合わせたものや子どもたちの「〇〇ほしい」という言葉を受け止め、様々な手づくり玩具を用意し遊びが広がるようにしています。

指先やいろいろな機能が発達してくる

- 戸外遊びや遊戯室の遊びを通して、歩く・走る・跳ぶ・登るなどの動作が少しずつ上手になり、全身を使って遊ぶことを楽しみます。
- つまむ・はめる・まわす・つなげるなどの玩具を使って遊ぶことで、少しずつ指先が器用になって、自分でできたおもしろさを感じます。





9 3歳児の 保育

いろいろな思いをぶつけ合う中で 友だちと遊ぶ楽しさを知っていく時期

友だちに興味をもち、関わりを広げていく時期です。自分の思いを表現するのはまだ難しく、手が出たり、ぶつかり合うことも多いので保育者が一緒に遊び、共感しながらコミュニケーションの方法を伝えていきます。

豆知識

リズム運動とボール遊び

リズム運動で体幹を鍛えることと一緒に、身体全体でボールを受け取る・腕の力を使ってボールを投げるなど、保育者とのやり取りの中からボール遊びの基本を教えています。その後、友だちとの受け渡しや、ドリブルへとつながっています。



自己主張は自立心の芽生えの第一歩

- 少しずつできることを増やし、自信をつけていきます。
- 温かく甘えを受け止めていきます。
- 子どもに選択権を与えるとうまくいくこともあります。



いろいろな言葉から 広がる遊びのイメージ

言葉の 玉手箱!

- 「せんせい、あのね」
話したい気持ちを丁寧に受け止めゆっくりと聞くことで、伝わる喜びを感じられるようにしています。
- 「これ、読んで」
好きな絵本は何度も見ても楽しいと子どもたちは感じます。くり返し読む中でイメージを広げ、遊びにも取り入れていけるようにしています。また、語彙を増やす遊びも工夫しています。



遊びの中からいろいろな発見が!

- 「教える」ではなく「気づき」がポイントです。
- お兄さんお姉さんに憧れ、真似したり、遊んでもらう楽しさを知ったりお世話される喜びを感じられるようにしています。

3歳児のリズム運動について

- 3歳児は基本の動作(金魚・ワニ・馬)を中心に、腕や足の力、体幹を鍛えています。体幹がしっかりとると姿勢も良くなり、心の面でも安心することにつながるようです。



10
4歳児の
保育

様々な人間関係を通じた経験から 心が生まれます

関わりをもつ人が「身の回りの人」から「他人」へと変わっていき、子どもたちの生活は変化に富んだものとなっていきます。子どもたちは友だちをはじめ、いろいろな人々との関わりの中で、みんなが気持ちよく生活するための社会のマナーや、集団生活の約束の大切さに気づいていきます。また、友だちと遊ぶことが楽しいと気づき始める時期でもあるので、友だちや周囲の人々との関わりの中で優しさや、いたわりの気持ちももてるよう接しています。

豆知識

縄跳び ひとり跳びにチャレンジ!

スモールステップで、達成感を得て、楽しみながらひとり跳びができるようにがんばります!

- リズム運動
- ▼
- 大縄跳び
- ▼
- フラフープでの縄まわし練習
- ▼
- ひとり跳び



個々の思いを受け止め自信につなげていく

- 「ドキドキ」や「不安」な気持ちを受け止め、焦らず、自分のタイミングで話せるようゆっくりと待ってあげるようにしています。
- 自分の言葉で話せたときにはたくさん褒め、自信につながるようにしています。



仲間を思いやる気持ちが芽生える

- 子どもたちと一緒に遊んだり、ときには見守りながら「みんなで遊ぶって楽しいね」「～されて悲しい気持ちだったね」等の思いを保育者が言葉にし、相手の気持ちを気づけるようにしています。
- 仲良しの友だちができたり、友だちと遊ぶ楽しさを知ることで、相手を大切にしようとする気持ちが生まれます。



「みんなと一緒に」ということが 大きな力に変わる

- 毎日の遊びや活動を通して皆と一緒にだから「楽しい」「頑張ろう」「挑戦してみよう」等、たくさんの気持ちが感じられるようにしています。
- 保育者が答えを出してしまうのではなく、少しずつ皆で考えたり、決めたりする機会をつくっています。



4歳児のリズム運動について

- 4歳は基本の動作にギャロップやスキップを加えリズム感を養っています。リズム感は音感だけでなく筋肉の力の入れ方や抜き方、止め方の操作もスムーズに行えることにもつながるようです。



達成感や絆が深まる

5歳児は日常生活の基本的習慣はほとんどひとりのできるようになり、小さい子の憧れの的。運動能力も向上し、社会性や協調性も芽生え、自分で考えて物事の判断をする基礎が培われる時期です。言葉も増え、筋道を立てて話すこともでき、相手の立場も考えられるようになります。

友だちとは同じ目標をもつことで、協力してやり遂げる中から達成感が芽生え、保育者は、一人ひとりの心に言葉を手渡しながら子どもたちが自信をもって生活できるように接し、絆を深めています。



豆知識

やる気スイッチON!

リズム運動を楽しむ中から体幹が作られ、竹馬に必要な基礎が作られます。牛乳パックから竹馬!!(バランスよく手足が動くようになります) お互い励ましなが、最後まで諦めないで取り組む中から自信が生まれ、達成感や一体感が生まれます。

クラスの一体感を感じる

- 友だちと一緒に、相談しながらひとつの物を作り上げる機会を設けその中で、共感する心や達成感を感じてもらいます。
- 当番活動を通して、他の人の役に立てることを嬉しく感じたり、小さい子のお世話をすることで思いやりを育み、仲間の一員として自覚が生まれる機会を大切にしています。



子どもたちの自主性、発想を活かす

- 今何を「やってみたい」のか、子どもの様子をよく捉え、発想が広がるような環境を整え、面白いアイデアは他の子にも知らせ、遊びを发展させていきます。
- 自分たちから、「やってみたい」ということは任せてみて、うまくいかないときに保育者はヒントを与え、子ども同士の発想を大切にしています。

子どもたちが安心して自己を十分に発揮できるようにする

- 競争心が芽生え、心のトラブルも起きることがあります。保育者は、一人ひとりの思いを十分に受け止め、その上で、相手の気持ちや良いところを知らせ、友だちを受容できる心を育てています。
- クラスまたは行事の中で発表する場を設け、最後までやり遂げたことを皆で称え個々の自信につなげていきます。



5歳児のリズム運動について

- 5歳児は、体幹やリズム感も少しずつ培われています。この時期に、しゃがんで背筋を伸ばして歩くことや、ブリッジ、仰向けに寝て足を上げ自転車をこく動作にもチャレンジし、後に竹馬にもつなげます。ひとりできたときには、大きな喜びと達成感があります。



12 食育について

楽しい食事・人や自然とのつながりが 元気な心と身体を育む

乳幼児期は、将来の健康な身体をつくるための食習慣を定着させる時期です。当園には大切にしていきたいこととして、3つの食育目標があります。

- 友だちや保育者と食事することを楽しみ、マナーを身につける
- 食を通して、命の大切さを知り、感謝する心を育てる
- 自然との関わりを通じ、調理や食文化に関心をもつ

食べるだけでなく、食に関するたくさんの経験をすることで、豊かな心を育てていきます。

豆知識

子どもの味覚は敏感です

大人がおいしいと思う感覚で味付けすると、子どもにとっては濃いめになることがあります。だしやうまみが出る食材を使うと、調味料を控えめにできます。素材そのもののおいしさを家族皆で味わってみませんか。

給食のこだわり

- だし・スープは煮干・昆布・かつお節・鶏ガラでとっています。
- 旬の物や季節の行事食を取り入れ、多彩な食材を使っています。
- 貞信ファームで収穫した野菜も利用しています。
- アレルギーをもつ子には個別に代替食を提供しています。
- 衛生管理を徹底しています。

ランチルームでいただきます！

- 3歳以上児は、1階ランチルームで給食を食べます。みんなと一緒に食べる中でマナーも知っていきます。
- 調理室に隣接しているので、温かいまま給食が出せます。また、中の様子が見えるので調理することに興味をもったり、作ってくれる人に親しみや感謝の気持ちをもってくれます。



給食、上手に食べられるかな？

- 3歳未満児は、3人にひとりの保育者がつき食事の介助をします。丁寧に見届けることで、やがて、ひとりで上手に食べるようになります。(0歳児は、1対1から始めます。)
- 年齢や個々に合った食器やスプーンを使っています。

おいしいだけじゃない！ 食べ物には不思議がいっぱい！

- 栄養士から子どもたちに向けて、旬の食べ物や身体と栄養について、月に1度お話ししています。楽しく興味をもてるように、工夫しています。

家庭への情報発信

子どもたちが、どんな給食を食べているか知ってもらったり家庭で活かせるような情報をお知らせしています。

- 給食日より
毎月の献立と一緒に「食」に関するテーマを取り上げて紹介しています。
- 給食の展示
毎日玄関に、給食を展示しています。メニューと材料名も記入しています。
- 試食会
年6回ほど、給食で人気のメニューを、保護者の方に試食していただいています。レシピも用意しています。
- 子育てサロン～ミニ講演会～
普段は給食を食べる機会の無いお子さんとお母さんにも、給食を食べる機会を設けています。





健康な身体で毎日を楽しく過ごそう！

子どもたちが元気に過ごすためには心と身体の両方が安定し心身ともに健康であることが大切です。
日々の生活の中での予防策や家庭との連携などを通して、子どもたちの健康管理に取り組んでいます。

豆知識

おいしい空気の中で

当園は、函館市で定める「おいしい空気の施設」に登録され、建物内及び敷地内は完全禁煙となっております。子どもたちが、おいしい空気の中で毎日を過ごせるよう、ご協力をお願い致します。

※駐車場での車内喫煙もご遠慮ください。

無料期間内に早めに接種しましょう！

●函館市では、子どもの予防接種を「接種できる年齢」の期間内は無料で受けることができます。

予防する病気	接種できる年齢(望ましい接種年齢)	接種回数	他の予防接種を受けるまでの間隔
BCG(結核)	生後3ヶ月～1歳未満(生後5ヶ月～8ヶ月未満)	1回	4週間以上おく
ポリオ(小児マヒ)	[1期初回1～3回目] 生後3ヶ月～7歳6ヶ月未満(生後3ヶ月～1歳未満)	3回	1週間以上おく
	[1期追加] 初回接種終了後6ヶ月以上(1年～1年半の間)	1回	
三種混合(DPT) ジフテリア(D) 百日咳(P) 破傷風(T)	[1期初回1～3回目] 生後3ヶ月～7歳6ヶ月未満(生後3ヶ月～1歳未満)	3回	1週間以上おく
	[1期追加] 初回接種終了後6ヶ月以上(1年～1年半の間)	1回	
麻疹(M) (はしか) 風疹(R) (三日はしか)	[第1期] 生後1歳～2歳未満	各1回	4週間以上おく
	[第2期] 5歳～7歳未満で就学前の1年間		

元気に過ごすために

- 登園時には体調の確認(体温・咳・鼻水・嘔吐・下痢)を行っています。薬については医師に処方された物に投薬依頼書を添付したもののみ投薬することができますようにしています。
- 一人ひとりの健康状態を把握することで、異常の早期発見・感染症の予防にもつながっています。また、年に4回健康面や感染症等について記載された「保健だより」を発行しています。



健康な身体づくり

- 子どもは大人に比べ体温調節の機能が未発達なため、過度の厚着によって急な温度変化に対応できず体調を崩しやすくなります。小さなときから薄着の習慣を身に付けることは大事な身体づくりの基礎になります。
- 当園では「裸足保育」を取り入れ「第二の心臓」とも呼ばれる足の形成(土踏まずなど)につなげています。また3～5歳児が毎週金曜日に行うリズム運動も丈夫な身体づくりを促しています。

病気から身を守るために

●感染症の発生・拡大を防ぐために

- 1 手洗い・うがい
- 2 手指・玩具の消毒
- 3 嘔吐キットの常備
- 4 加湿空気清浄機の使用
- 5 発症時の情報共有

※5については保育者間だけでなく掲示や呼び掛けを行い保護者の方へ情報提供を行います。

嘔吐キットとは？

・消毒液 ・新聞紙 ・マスク
・ビニール袋 ・使い捨てエプロン、手袋
上記6点をバケツにセットし、数箇所に常備することで嘔吐からの感染拡大を防いでいます。





安全に過ごすために

日頃から事故を防止する上で「危ないから、ダメ!!」ではなく、「どうして危ないか」を子どもたちと一緒に考えることで、子ども自身が危険を回避できるように働き掛けています。また、安全に子どもたちが過ごせるように、保育室内や園庭などに破損がないか、週に一度点検を行っています。



こぐまクラブ(交通安全教室)で実演やパネルシアターなどを通して交通安全の大切さを知らせています。

子どもたちを大きなケガや事故から守りたい

子どもたちがのびのびと楽しく遊べるような保育園であり続けたい……。私たちは、子どもたちを大きなケガや事故から守ると同時に、子どもの学びを考えた安全対策を行い、保護者の皆様が安心して子どもを預けられる保育園を目指しています。

14 事故防止・災害時の対応・不審者対策

豆知識

災害時の連絡先

東日本大震災の際、携帯電話による通話が困難な中、通信状態が良かったのがPHSのウィルコム。当園でも、災害時に回線を用意し、万が一のときに安否の確認が取れるようにしています。

災害時の連絡先
070-5566-6516

当園にもAEDを設置しています

当園では緊急の場合に備えてAED(自動体外式除細動器)を設置しています。職員は市民救助員資格を順次取得中(平成25年4月1日現在4名取得済)であり、迅速な対応ができるよう、知識の向上、共有を図っています。



非常食や防災頭巾など、必要な物品を取り揃え、もしものときに備えています。

万が一の事態にそなえて

当園では、毎月1回様々なケースを想定し、避難訓練を行っています。

- 地震訓練
発生時間や震度等、想定を変えながら訓練をしています。津波想定訓練では、避難所(深堀中学校)まで実際に避難をします。
- 火災訓練
出火元により避難場所を変えながら訓練をします。消防への通報連絡も行っています。
- 不審者侵入時訓練
職員が不審者役をします。セコムへの通報訓練もし、緊急の場合に備えています。

お子さんと保護者に寄り添って…

保育者は、常に子どもたちのサインを見逃さないよう、一人ひとりの状態を把握しています。場合によっては児童相談所でも子育ての相談に応じてくれます。

全国共通ダイヤル **0570-064-000** 匿名でも可。秘密は守られます。

オレンジリボンには子どもの虐待を防止するというメッセージが込められています。





時代と保護者のニーズに合わせた柔軟な保育園であるために

今日家庭には様々な生活スタイルがあり、そのニーズに対応していくことでより多くの子育て家庭への支援ができます。
 子育てを家庭の中だけではなく、家庭はもちろん子どもに関わるすべての大人がコミュニケーションを大切にしながら、職員と地域の皆さんで子育てをサポートしたいと考えています。全職員が一体となり、よりよい子育てのパートナーになることを目指しています。

豆知識

充実した保育サービス

- 乳児保育 生後57日から
- 延長保育 18:15~19:15まで
- 障がい児保育 ご相談ください
- 一時預かり 一時的に保育します
- 子育てサロン 親子で気軽に集い遊びに来るところです



子育てのパートナーになりたい

子育てに関する悩みや不安は誰にでもあります。私たちは保護者の皆さんと一緒にその悩みを考えていきたいと思っています。送迎時に話をしたり、連絡帳に書くこともできます。また、その日のできごとをわかりやすく掲示したり、保護者の皆さんに園行事へ参加していただくことで、職員や保護者同士のコミュニケーションがとれるなど、何でも話しやすい雰囲気づくりを心掛けます。

ときには、保健センターなどの専門機関の力をかりることもできます。



悩みや不安
お問い合わせなど、
何でもお電話ください!

0138-51-0077
深堀子育てサロン直通

子育てサロンって?

- 自由開放** 事前の申し込みは不要です。時間内はいつでもお気軽にお越しください。
- 赤ちゃんデー** 0歳から1歳前後のお子さんが、ゆったりと遊べる時間です。
- サークル活動** 週に1回、同じメンバーで集い、子育てを楽しむ仲間づくりのサークルです。サークル活動は、年度によって変わる場合があります。

子育てサロン週間プログラム

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
9:00~12:00	0・1歳児サークル①	2・3歳児サークル①	2・3歳児サークル②	0・1歳児サークル②	自由開放
13:30~15:30	赤ちゃんデー	自由開放	赤ちゃんデー	自由開放	赤ちゃんデー



社会福祉法人 貞信福祉会
認定こども園
函館深堀保育園

